

令和6年3月1日

保護者様

羽曳野市立高鷲中学校  
校長 山田 浩三

## 学校の教育活動についてのアンケート結果のお知らせ

今回、学校教育自己診断にご協力いただきありがとうございました。高鷲中学校においては、日々保護者・地域の皆さまの協力をいただきながら様々な教育活動を実施しています。子どもたちにとってどんな教育が必要でどんな教育が大切かを、このアンケートを行うことによって今後の学校運営の資料として活用していきたいと考えております。

今回のアンケート実施に対し、保護者の皆さまからご協力をいただいたことに深く感謝申し上げます。ここにアンケート集計結果をご報告いたします。

皆さまからの貴重なご意見を評価と捉え、これからの高鷲中学校の学校づくりに活かしていきたいと考えています。今後のご意見やご提案も含めてよろしく願いいたします。

### ①全体的な肯定的意見の傾向

	昨年度		今年度
【生徒】	86%	⇒	86%
【保護者】	80%	⇒	82%

☆今回のアンケート結果から、今年度はコロナウイルスが2類から5類に代わり学校行事及び教育活動が制限なく実施できるようになりました。目標達成率70%を18項目中生徒17項目、保護者は16項目で上回る事ができました。全体的には学校の教育・取り組み・生徒への対応に対して十分な共感や理解をいただいているように感じ、心から感謝いたします。

## ②肯定的な意見

<生徒>

### 成果（達成率が70%以上の項目）

- ・問14…学校行事はみんなが頑張れるように工夫されている＝94%
- ・問17…命（人権）の大切さや社会のルールについて学習する機会が多い＝92%
- ・問7…忘れものや提出物の点検はきちんとされている＝91%
- ・問15…生徒の自主的な活動（生徒会・委員会など）が活発になるように考えられている＝91%
- ・問8…ティーム・ティーチングや少人数分割授業は、授業内容が理解しやすい＝90%
- ・問18…学校は通信などを利用して、家庭（保護者）との連携を密にしている＝90%
- ・問2…先生は生徒の意見をよく聞いてくれる＝89%
- ・問3…先生は授業で生徒の興味関心を考えて、様々な工夫をしている＝87%
- ・問12…将来の進路や生き方について考える機会がある＝87%
- ・問9…成績のつけ方や通知表については納得できる＝86%
- ・問13…進路についての情報をよく知らせてくれる＝85%
- ・問1…学校へ行くのが楽しい＝84%
- ・問10…先生は生徒の悩み（いじめなど）や相談に親身になってくれる＝84%
- ・問11…担任の先生以外に、保健室や相談室（スクールカウンセラー）などで、安心して相談することが出来る＝84%
- ・問16…部活動に積極的に参加している＝85%
- ・問4…授業で分からないことを、先生に質問しやすい＝76%
- ・問5…授業で間違っても恥ずかしくないように配慮してくれる＝76%

### 課題（達成率が60%未満の項目）

- ・ありませんでした

## <保護者>

### 成果（達成率が70%以上の項目）

- ・問9…成績のつけ方や通知表については納得できる＝93%
- ・問2…先生は子どもの意見をよく聞いてくれている＝91%
- ・問14…学校行事はみんなが頑張れるように工夫してある＝90%
- ・問17…命（人権）の大切さや社会のルールについて学ぶ機会を多くしている＝90%
- ・問8…子どもはチームティーチングや少人数分割授業は、授業内容が理解しやすいと言っている＝86%
- ・問10…先生は生徒の悩み（いじめ等）や相談に親身になってくれる＝88%
- ・問5…先生は子どもが授業で間違っても恥ずかしくないように配慮してくれる＝87%
- ・問7…忘れものや提出物の点検はきちんとされている＝87%
- ・問1…子どもは学校へ行くのが楽しそう＝85%
- ・問3…学校は授業で様々な工夫をしているようだ＝85%
- ・問18…学校は通信などを利用して、家庭（保護者）との連携を密にしている＝83%
- ・問11…担任の先生以外に、保健室や相談室（スクールカウンセラー）などで、安心して相談することが出来る＝82%
- ・問4…子どもは、先生に質問しやすいと言っている＝76%
- ・問16…子どもは、部活動に積極的に参加している＝76%
- ・問12…将来の進路や生き方について考える機会があるようだ＝73%
- ・問15…PTA活動は、参加しやすいように工夫されている＝73%

### 課題（達成率が60%未満の項目）

ありませんでした

## <生徒>

- ・このアンケートでは大きく分類すると「集団づくり」「授業改善」「先生と生徒の関係」という3つの観点で、数値を評価することが出来ると思います。まず「集団づくり」の面で見えていくと、問14「学校行事はみんなが頑張れるように工夫し

である」が94%、「生徒の自主的な活動（生徒会・委員会など）が活発になるように考えられている」が91%で、コロナ禍の制限がない教育活動を行うことで昨年より2から3ポイント増えている。問1「学校に行くのが楽しい」は84%でした。昨年より2ポイント増えています。6人に一人は楽しいと思えない状況です。生徒たちに「学校が楽しい」と思わせるような取り組みをどう構築していくかが大きな課題であると感じます。

- ・学習面で見えていくと、問3「先生は授業で生徒の興味関心を考えて、様々な工夫をしている」が87%です。今年度は、スマートスクール実践モデル校として、タブレット端末等、ICT機器の活用に取り組んできました。その結果の表れかと思いますが、この数値に満足することなく授業への創意工夫を続けていきます。
- ・先生と生徒の関係について見えていくと、問10「先生は生徒の悩みや相談に親身になってくれる」が84%、問11「担任の先生以外に、保健室や相談室などで安心して相談することが出来る」が84%です。この数字に安心することなく、生徒との信頼関係を構築していくよう、尽力していきます。

#### <保護者アンケートより>

- ・保護者アンケートの結果、問2「先生は子どもの意見をよく聞いて考えてくれている」(91%)、問10「先生は生徒の悩みや相談に親身になってくれている」(88%)、問11「担任の先生以外に、保健室や相談室などで安心して相談することが出来る」(82%)と、いずれもの達成率が80%を超えました。80%を超える保護者の方々が、「先生達が生徒に対して親身になって関わってくれている」と感じてくれていることに、教職員一同嬉しく思うとともに、この達成率に満足することなく、さらに数値が上昇するように尽力いたします。
- ・課題としては、生徒と同じく問1「学校に行くのが楽しそうだ」は85%で昨年度より4ポイント増えているが、来年度は生徒、保護者ともに問1の達成率が90%に到達するように教育活動の創意工夫に努めてまいります。